

令和4年度
古河市社会福祉協議会事業報告書
第3期古河市地域福祉活動計画2ヶ年目



社会福祉法人 古河市社会福祉協議会

— 目 次 —

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標	P 2
社協組織	P 3
基本目標1	P 4
（1）災害時支援体制の確保	P 4
（2）小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築	P 5
（3）支え合う人づくり	P 6
（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり	P 8
（5）ボランティアなど地域組織への活動支援	P 9
（6）地域ネットワークの構築	P 10
基本目標2	P 11
（1）在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）	P 11
（2）在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）	P 14
基本目標3	P 15
（1）生活安定のための環境づくり	P 15
（2）権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡大）	P 16
（3）相談体制の充実	P 17
基本目標4	P 18
（1）適正な法人の運営	P 18
（2）広報・啓発活動	P 21
（3）財源の確保	P 22

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標

基本目標 1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

居場所づくり・地域づくりの応援キャラクター

『らぶちゃん』です！



社協組織

執行体制（39名）

- | | | | | | |
|------|-----|------|----|-------|-----|
| ・会 長 | 1名 | ・副会長 | 2名 | ・常務理事 | 1名 |
| ・理 事 | 10名 | ・監 事 | 2名 | ・評議員 | 23名 |

職員体制（102名）【R3年度113名】

○事務局（正職・嘱託）46名【R3年度47名】

- | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|---------|
| ・局長1名 | ・次長1名 | ・課長1名 | ・副参事2名 | ・課長補佐4名 |
| ・係長8名 | ・主幹9名 | ・主事5名 | ・嘱託9名 | ・再任用6名 |

○臨時職員4名【R3年度4名】

（内訳）

- | | | | |
|-------------|----|-------------|----|
| ・地域福祉係 | 1名 | ・地域包括支援センター | 1名 |
| ・総和老人福祉センター | 1名 | ・在宅支援係 | 1名 |

○非常勤職員52名【R3年度62名】

（内訳）

- | | | | |
|------------|-----|----------------|-----|
| ・登録ホームヘルパー | 27名 | ・日常生活自立支援事業支援員 | 14名 |
| ・せせらぎの里 | 2名 | ・デイスティ | 7名 |
| ・給食サービス | 2名 | | |

基本目標1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

(1) 災害時支援体制の確保

①災害ボランティアセンターの設置・運営の実施

市内において災害が発生し、復興支援等が必要となった場合、本会が主体となり、『災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』に沿って、同センターを設置・運営いたします。

災害発生時における協定

・今年度は、古河青年会議所、株式会社ダイナムと締結いたしました。

ストックヤード事業の実施

・市内の個人、団体に事前の登録を行ってもらい、災害ボランティアセンター設置運営時に必要な資機材を提供してもらうシステムです。

登録者数(総数)	R4年度	R3年度	前年度比
個人	0件	—	—
団体	3件	—	—

②災害ボランティアコーディネーター養成研修会等の実施

災害ボランティアセンターシンポジウム

開催日 令和5年2月4日(土)
会場 ユーセンターKI 防水
参加者 140名
内容 ・日常のつながりこそ減災力等

防災講演会

開催日 令和5年3月18日(土)
会場 ユーセンターKI 防水
参加者 180名
内容 ・地域防災力を高め、共助の輪を広げよう



③災害発生時の避難行動支援者名簿への登録及び避難行動計画の作成支援

災害時において配慮が必要な方に対して、「古河市避難行動要支援者個別支援計画」を作成し、災害時においては、利用者の安全の確認を行い、行政機関等の関係機関と情報共有を図るよう努めます。

④事業継続計画（BCP）の活用

災害等の緊急事態発生時に、平常時及び緊急事態発生時における社会福祉協議会の役割、体制、職員動員等を明らかにし、迅速、円滑な対策を講じ、災害や事故などで被害を受けても、重要な福祉サービスを中断させない、又は中断したとしても可能な限り早急に再開できるよう『事業継続計画（BCP）』を活用します。

(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築

①生活支援体制整備事業

高齢者の自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防または軽減、悪化の防止を図るため、高齢者の生活支援及び介護予防に係る支援体制の整備を推進することを目的とする事業です。

第1層協議体（地域生活支えあい会議）の開催（全4回開催）

	開催日	内容	参加人数
第1回	6月30日 (木)	委嘱状交付 事業説明	20名
第2回	9月29日 (木)	生活支援コーディネーターの活動報告 グループワーク	15名
第3回	12月15日 (木)	生活支援コーディネーターの活動報告 グループワーク	14名
第4回	3月14日 (火)	生活支援コーディネーターの活動報告 グループワーク	16名

②新たな地域での見守りシステムの構築

様々な意見を出しあっています

第2層協議体の開催

行政自治会 区分地区	第2層協議体名	R4年度	R3年度
第6地区	ほっこり6区	3回	0回
第7地区	カフェいこい（仮称）	5回	一回
第9地区	SUN9サロン	6回	0回
第15地区	いいかげん	2回	1回



③生活困窮者支援等のための地域づくり事業

地域におけるつながりの中で、住民による「居場所づくり」や、地域住民の相談を丸ごと受け止め解決する多様な担い手づくりを支援し、地域の課題の解決に努めました。

地域福祉活動マイスター制度の実施

社協が実施した各講座の参加者に、ももちゃんピンバッジを配布し、継続的なボランティア活動支援を行いました。



④日常的な見守り活動の充実

いきいきサロン等に「ももちゃん困りごと悩みごとシート」をお配りし、地域の様々な問題に対応しました。昨年度は、13件の相談が寄せられ、専門機関に繋ぎ対応することができました。

また、各社協窓口及び包括支援センター、生活支援センター、ふれあいいきいきサロン等に、身近な地域におけるふくしの相談窓口として、『地域のふくし相談窓口』のノボリを設置しました。

(3) 支え合う人づくり

①児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及活動に取り組みました。また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を促進しました。(上限額：30,000円)

補助金合計 811,000円(28校) 【R3 781,000円】(27校)
(内訳)

- ・小学校 23校中(30,000円20校、補助金辞退3校)
- ・中学校 9校中(30,000円6校、補助金辞退3校)
- ・中等教育学校 1校中(補助金辞退1校)
- ・高等学校 5校中(1,000円1校、補助金辞退4校)
- ・専門学校 3校中(30,000円1校、補助金辞退2校)
- ・短期大学 1校中(補助金辞退1校)

②小中学校における福祉体験学習等の支援

点字版や高齢者疑似体験セット、体験用車椅子等の貸出を行っています。

③学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

ボランティア活動に関心のある中学生以上の学生によって組織され、代々活動が受け継がれています。市で行う行事や福祉まつりをはじめ、子ども会行事への協力を行っています。

- ・会員数 38名 【R3年度 39名】

<自主活動>

- ・夏期育成研修会

令和4年6月18日(土) 12名
(さしま少年自然の家)

- ・春期育成研修会

令和5年3月25日(土) 8名
(さしま少年自然の家)



<派遣活動>

- ・さんさんまつり、どまんなかまつり、ふくしチャレンジスクール

④ふくしチャレンジスクールの開催

ボランティア体験月間にあたる夏休みを利用した体験学習を通して、自立性・協調性を培うと共に福祉への興味・関心を高め、ボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを目的に実施しました。

やつチャオ! 2022(5・6年生)

開催日 令和5年2月26日(日)

場所 総和南中学校体育館

参加者 24名

内容 車椅子バスケットボール等

※新型コロナウイルス感染症の影響により
夏から冬に延期



「行っちゃオ! 2022(3・4年生)」

開催日 令和5年1月9日(月)
参加者 30名
内 容 東日本盲導犬協会及び栃木県防災館見学
※新型コロナウイルス感染症の影響により
夏から冬に延期



「行っちゃオ! 2022」より

⑤地域サポーター養成講座(入門編・実践編)の開催

複雑・多様化するニーズに対応するため、市民と共に支援する仕組みづくりが重要となります。住み慣れた地域での暮らしをサポートするための人材を育てることを目的に、福祉の基本を学び、質の高い人材を養成し確保するために実施しました。

入門編

開催日 令和4年8月24日(水)
会 場 古河第二高等学校
受講者 2年1組 29名
内 容 ・社協って何?社協概要と事業について
・赤い羽根共同募金について
・地域サポーターに求められる活動とは



実践編

開催日 令和5年3月28日(火)
会 場 社会福祉法人パステル「おおぞら」
参加者 4名
内 容 ・障害者との交流及び陶芸体験

⑥認知症サポーター養成講座の開催

地域包括支援センターの職員が講師として市内の
小中高等学校へ出向き実施いたしました。

【古河地区】(延べ受講者数426名)

実施日	受講者	受講者数
R4. 7. 13	古河第五小学校6年生	23名
R4. 9. 16	古河第一中学校2年生	133名
R4. 10. 6	三桜工業(株)	20名
R4. 11. 10	民生委員児童委員第5地区協議会	23名
R4. 11. 29	古河第二中学校1年生	150名
R4. 12. 26	古河第二小学校6年生	77名

【三和地区】(延べ受講者数383名)

実施日	受講者	受講者数
R4. 7. 14	八俣小学校5年生	70名



対応の7つのポイント

1. まずは見守る ...さりげなく
2. 余裕を持って対応する ...落ち着いて
3. 声をかける時は1人で ...怖がらせない
4. 後ろから声をかけない ...驚かせない
5. 相手に目線を合わせてやさしい口調で
6. おだやかに、はっきりした滑舌で
7. 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

R4. 9. 9	三和東中学校 1 年生	5 6 名
R4. 10. 20	三和郵便局	1 0 名
R4. 10. 27	諸川小学校 3 年生	6 9 名
R4. 11. 25	大和田小学校 4 年生	1 9 名
R4. 12. 1	三和中学校 1 年生	9 4 名
R5. 12. 14	名崎小学校 6 年生	6 5 名

⑦古河市認定ヘルパーの養成

古河市で介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、高齢者を支える担い手の整備が必要になりました。市の委託事業「生活支援体制整備事業」の一環で養成講座を年 2 回実施し、「古河市認定ヘルパー」として市内業者での活躍につなげています。

開催日	開催場所	受講者数	内容
令和 4 年 7 月 2 1 日 (木) ～ 2 2 日 (金)	福祉の森会館	1 2 名	介護保険制度の概要等
令和 5 年 1 月 2 9 日 (火) ～ 3 0 日 (水)	福祉の森会館	1 0 名	

⑧認知症講座の開催

社協独自の認知症講座を開催し、認知症についての普及啓発に努めました。

実施日	受講者	受講者数
R5. 2. 10	三桜工業 (株)	4 2 名
R5. 2. 17	三桜工業 (株)	5 3 名



(4) 地域福祉活動のしやすい環境づくり

①ボランティア活動への参加促進

ももちゃんフードバンク

ももちゃんフードボックスの設置や各種イベントでのフードドライブを行うことで、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

<収集実績>

フードボックス設置場所	R 4	R 3	前年比
古河市福祉の森会館	5 2 6 件	4 6 7 件	5 9 件増
古河市総和福祉センター健康の駅	4 7 件	1 4 0 件	9 3 件減
古河市三和地域福祉センター	1 7 件	4 4 件	2 7 件減
古河市役所古河庁舎	4 3 件	8 5 件	4 2 件減
古河市役所総和庁舎	2 0 件	7 8 件	5 8 件減
古河市役所三和庁舎	1 3 件	3 3 件	2 0 件減
合 計	6 6 6 件	8 4 7 件	1 8 1 件減

<主な支援先>

・生活困窮者や市内の福祉施設、子ども食堂、児童クラブ、その他市内小中学校等

ももちゃんフードドライブの実施

・第 1 回新ふくしまつり、ドまんなかまつり

ももちちゃんフードパントリーの実施

開催日 令和5年1月28日(土)
会場 古河福祉の森会館・総和福祉センター
三和地域福祉センター
配布者 100名
配布品 レトルト食品、米、野菜、ハム、水等



不要入れ歯回収事業

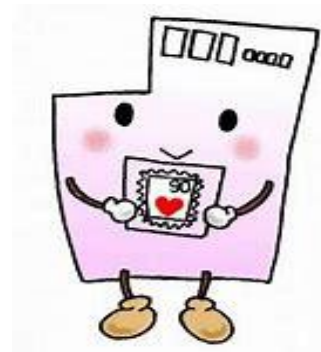
入れ歯には貴重な貴金属が含まれており、まとめて精製し取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わります。その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付(換金額の40%)され、ボランティア活動に役立つことになります。また、ゴミをリサイクルすることでエコロジーの面からも社会に貢献しています。

・収益金 24,779円【R3年度11,220円】

②企業の社会貢献活動等の促進

寄付の受け入れ・払い出し

寄付金の他に主な物品の預託としては、
使用済み切手・プリペイドカード・
ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に
預託される方や企業の社会貢献活動の一環
として預託していただきました。



・受入れ合計 208件
・金額合計 2,371,877円【R3年度212件3,367,476円】

(5) ボランティアなど地域組織への活動支援

①ボランティアセンターの機能強化

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、市民一人ひとりが安心して暮らせる福祉コミュニティ作りを目的としています。

ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行いました。また、ボランティア活動情報の収集、提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

登録・活動申込

・団体登録数 60団体(会員1,885名) 【R3年度66団体(会員1,968名)】
・コーディネート件数 10件 【R3年度11件】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人またはボランティアグループなどがボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任に備え、加入事務手続きを行いました。

ボランティア市民活動センターの設置・運営

・利用回数 166日 ・利用者累計 1,330名 【R3年度104日・696名】

②社協登録ボランティア団体等への運営援助

1) 社協登録ボランティア団体

・社協登録ボランティア（一般）	25団体	920,000円
・ひとり暮らし給食サービス	8団体	380,000円
・子ども食堂（地域食堂）	4団体	480,000円

2) その他の関係団体

・古河市民生委員児童委員第1地区協議会	255,000円
・古河市民生委員児童委員第2地区協議会	190,000円
・古河市民生委員児童委員第3地区協議会	323,000円
・古河市民生委員児童委員第4地区協議会	168,000円
・古河市民生委員児童委員第5地区協議会	132,000円
・古河市身体障害者(児)福祉団体連合会	550,000円
・古河市心身障害児(者)父母の会連合会	300,000円
・学生ボランティアサークルふうせん	150,000円
・古河市青少年相談員連絡協議会	50,000円
・古河市子ども会育成連合会	200,000円
・古河市母子寡婦福祉連合会	150,000円
・古河市ボランティア協会	700,000円
・古河市老人クラブ連合会	400,000円
・更生保護女性会古河支部	50,000円
・古河市聴覚障害者協会	30,000円
・古河市視覚障害者協会	20,000円
・古河市くらしの会	30,000円
17団体合計	3,698,000円
【R3年度 17団体・3,683,000円】	

③ボランティア活動の情報収集拡大・充実

ホームページや社協だよりにおいて情報発信やボランティア活動の募集等を行いました。

④ボランティア講座等の実施

おもちゃドクター養成講座

開催日 令和4年12月8日（木）～12月9日（金）

会場 古河福祉の森会館 創作室

受講者 14名

内容 ・おもちゃドクターに必要なスキル等



(6) 地域ネットワークの構築

①各種関係団体の連携強化

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域において多職種相互の協働等による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの実現を目指し、地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

【介護支援専門員との連携（相談・同行）】

地 区	R4年度	R3年度	前年度比
古河地区	58件	49件	9件増
三和地区	21件	41件	20件減

専門職からの在宅医療・介護に関する相談業務

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関や介護事業所等の専門職からの相談に応じ、関係者間の連携・協働の体制づくりに努めました。

【関係機関からの相談（医療機関等）】

地 区	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
古河地区	6 6 件	4 5 件	2 1 件増
三和地区	3 9 件	3 4 件	5 件増

②地域福祉ネットワークの構築

買い物支援事業（モデル地域 古河市大山在住の高齢者）

第1層協議体「地域生活支えあい会議」の中で福祉課題の抽出、課題解決の手段について検討し取り組みを具体化しました。資源調査の中で特に買い物支援の需要が高かった地域をモデルとして買い物の支援を必要としている人を大型店やショッピングモール等に送迎し、買い物支援・居場所・仲間づくりを目指しています。継続していく中で、施設や地域住民の協力も得られており今後の事業化や地域住民が主体となる取組としての可能性を検討しています。

③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

アウトリーチ支援強化事業

本事業は、『ひきこもり』や、いわゆる『8050』問題の当事者等、複雑、複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない者に必要な支援を届けるための事業です。

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
相談受付件数	2 1 7 件	—	—
プラン作成件数	6 件	—	—

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

（1）在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）

①ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、引きこもりの防止と介護予防を目的に各公民館等において各地区民生委員の協力をいただき実施。さらに、ボランティア同士の交流会、研修会も実施。

実施会場 8会場（各月1回）

利用者累計 591名【R3年度 474名】

②ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に企画運営をし、人と人とを結ぶ交流の場、仲間づくりの場を 目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動、開設についての助言を実施しました。

サロン数 56サロン【R3年度 51サロン】

（内訳）古河地区 29サロン【R3年度 26サロン】

総和地区 12サロン【R3年度12サロン】
三和地区 15サロン【R3年度13サロン】

③老人クラブ連合会への活動支援

明るい長寿社会づくりと保健福祉の向上を目指し、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織としての事務局運営を支援しました。

・市内老人クラブ数 122クラブ【R3年度130クラブ】

④在宅福祉サービスセンター運営事業（愛称「ももちゃんお助け隊」）

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがいる家庭や、子育て中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。「ももちゃんお助け隊」と愛称を付けて協力会員、利用会員の増加を図っておりましたが、**新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の活動を制限いたしました。**

・利用会員利用回数（延べ）518名【R3年度464名】
・協力会員活動回数（延べ）206名【R3年度203名】
・支援回数1,839回【R3年度1,635回】
・支援時間2,599時間【R3年度2,295時間】



⑤陶芸教室事業

高齢者及び障がい者の社会参加を促すことを目的に、生きがいつくり、引きこもり防止、認知症の予防及びリハビリのため創作活動を行いました。

開催日 毎週月曜日～金曜日 午前9時～12時30分

会場 古河福祉の森会館 陶芸室

対象者 市内在住65歳以上又は軽度な障害のある方

利用者 40名

⑥居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護認定を受けた方の介護度や心身の状態に応じて、適切なサービスが受けられるよう、古河市やサービス事業所等との連絡調整を重ね、適正なケアプラン作成に努めました。

また、要介護や要支援になった方が、住み慣れた地域で自立した生活が続けることができるよう、各種研修会に積極的に参加し、援助に関する専門家としてのスキルアップを図りました。

《延べ利用者数》

	R4年度	R3年度	前年度比
居宅介護支援	1,983名	2,231名	248名減
介護予防支援	401名	500名	99名減

⑦訪問介護事業（介護保険事業）

介護認定を受けた高齢者等に対し、入浴・排泄・食事の介助、生活支援サービスを提供しました。

高齢者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるように留意しました。また、特定事業所として、社協内研修の実施や各種研修会に積極的に参加しました。

《延べ利用者数》

	R4年度	R3年度	前年度比
訪問介護	4,061名	4,103名	42名減
総合事業	3,031名	2,670名	361名増

ヘルパー研修会

開催日 令和4年11月19日（土）

会 場 三和地域福祉センター

出席者 25名

内 容 在宅におけるスキンケア

・古河赤十字病院の専門職の方に指導していただきました。

⑧自動車運送（移送サービス）事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯する通院等乗降介助業務のため、道路運送法における有償運送の許可を取得し、要介護者の移送を実施しています。

《延べ利用者数》

	R4年度	R3年度	前年度比
自動車運送回数	593回	586回	7回増

⑨地域包括支援センター事業（古河地区・三和地区）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、保健・医療・介護・福祉の専門職種である保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種を配置し、下記の事業に取り組みました。

1) 介護予防・日常生活支援総合事業及び指定介護予防支援に関する業務

要支援認定者に対して、自立した生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を勘案した介護予防サービス計画を作成するとともに、その提供のために介護予防サービス事業者等との連絡調整を行いました。

【介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援計画作成件数】

ケアプラン作成数		R4年度	R3年度	前年度比
古河	センター作成	1,350件	1,625件	275件減
	委託事業所作成	4,814件	4,482件	332件増
	合 計	6,164件	6,107件	57件増
三和	センター作成	888件	939件	51件減
	委託事業所作成	2,287件	2,219件	68件増
	合 計	3,175件	3,158件	17件増

2) 認知症高齢者行方不明等対応業務

高齢者の行方不明事案が発生した際に、警察署や市、関係機関と連携し、家族に認知症への対応についての助言や、介護保険サービスの利用につなげるなど、再発防止に努めました。

【行方不明及び身元不明の対応】

地区	R4年度	R3年度	前年度比
古河	16件	21件	5件減
三和	1件	4件	3件減

3) 地域ケア個別会議の開催（古河地区年6回・三和地区5回開催）

高齢者の実態把握や課題解決にあたり、多職種の専門職による検討会議を開催し、総合調整を図りました。

⑩総和老人福祉センター「せせらぎの里」管理運営事業

＜せせらぎの里運営＞（指定管理者制度導入事業）

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
利用者累計（個人）	9, 6 2 3 名	1 0, 0 6 4 名	4 4 1 名減
（団体）	6 8 9 名	8 6 名	6 0 3 名増
浴場利用者数	9, 6 2 3 名	1 0, 0 6 4 名	4 4 1 名減

- ・自主クラブ活動支援（各 2 回/月） 手芸クラブ、書道クラブ

※新型コロナウイルス感染症の影響と施設の利用制限により中止

- ・自主事業

施設利用の拡大及び公平な利用を図り、利用促進を目的に自主事業を行いました。

刃物研ぎ

開催日 令和 4 年 5 月 3 1 日（火）

件 数 3 4 件【令和 3 年度 24 件】

⑪福祉用具（車椅子等）の貸出

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
車椅子	2 5 6 件	2 5 1 件	5 件増
介護用ベッド	5 1 件	7 3 件	2 2 件減

（2）在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）

①デイスティ事業

障害児（者）を介護している家族等が一時的に家庭においての介護が困難になったときに、障害児（者）を一定時間預かり家族の負担軽減を図るため、支援スタッフが身の回りの世話や援助のサービス提供を行いました。

＜実施施設：古河福祉の森会館＞

のぞみ	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
実施日数	1 0 3 日	2 1 9 日	1 1 6 日減
利用者累計	1 3 4 名	4 2 1 名	2 8 7 名減
利用時間累計	3 1 3 時間	1, 0 5 0 時間	7 3 7 時間減
支援スタッフ	1 5 9 名	4 7 9 名	3 2 0 名減

＜実施施設：古河市三和地域福祉センター＞

さんわ	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
実施日数	4 日	1 7 日	1 3 日減
利用者累計	4 名	1 7 名	1 3 名減
利用時間累計	2 1 時間	9 8 時間	7 7 時間減
支援スタッフ	1 2 名	5 7 名	4 5 名減

②指定居宅介護事業（自立支援事業）

在宅で生活されている障がいのある方に対して、入浴・排泄・食事の介護並びに家事支援サービスを提供しました。

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
指定居宅介護事業	3 1 6 名	2 8 0 名	3 6 名増
同行援護	1 0 2 名	7 8 名	2 4 名増
重度訪問事業	0 名	0 名	増減なし

基本目標3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

(1) 生活安定のための環境づくり

①生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、その者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認しながら個々の状態にあった支援プランを作成し、関連事業や関係機関との連携を行いました。

自立相談支援事業

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
新規相談受付件数	3 2 4 件	5 8 2 件	2 5 8 件減
プラン策定数	2 3 件	3 5 件	1 2 件減
一般就労者数	1 4 名	2 0 名	6 名減

住居確保給付金事業

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した者又は住居を喪失する恐れのある者に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、住居と就労機会の確保に向けた支援を行いました。

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
住宅確保金支給決定	1 4 名	2 6 名	1 2 名減
うち常用就職者	6 名	1 2 名	6 名減

家計相談支援事業

家計の見直しを行いながら、困窮世帯の家計管理能力の向上を図り、早期に生活を再生させる支援を行いました。

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
家計相談利用者数	2 0 名	5 名	1 5 名増
家計再生プラン策定	7 名	5 名	2 名像

②生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯をはじめ、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対して、世帯の自立を支援することを目的に貸付に関する相談や申請事務手続きを行いました。

また、新型コロナウイルス感染症による影響による休業や失業等により、生活資金が必要な方に対し、令和2年3月25日より特例貸付の申請が開始されました。

貸付申請件数 0 件 【R3 年度 3 件】

- ・総合支援資金 0 件
- ・福祉資金 0 件
- ・教育支援資金 0 件
- ・不動産担保型生活資金 0 件

特例貸付申請件数 1 2 9 件 【R3 年度 798 件】

- ・緊急小口資金特例貸付 5 8 件
- ・総合支援資金特例貸付 7 1 件
- ・総合支援資金特例貸付（延長） 0 件
- ・総合支援資金特例貸付（再貸付） 0 件

③生活一時資金貸付事業

本会の自主事業で、低所得世帯に対する支援として貸付を行いました。

- ・貸付件数 1 件【R3 年度 3 件】
- ・貸付金額 20,000 円【R3 年度 60,000 円】
- ・償還完了件数 1 件【R3 年度 6 件】

④ 緊急生活支援対策事業（お米券等の配布等）

古河市における生活困窮者等に対する支援の一環として、緊急的な対応を必要とする世帯に対し、緊急支援を行ないました。 ・ 救援物資支給 11 件

⑤行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまった方を対象とした援助を行いました。（200 円）

6 件 1,200 円【R3 年度 8 件・1,600 円】

⑥風水震火災被災者に対する援助

火災 全焼 20,000 円、半焼 10,000 円のお見舞い

- ・全焼 7 件 ・半焼 3 件【R3 年度 全焼 3 件・半焼 1 件】

（2）権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）

①日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
支援中	20 件	20 件	増減なし
新規契約	6 件	2 件	4 件増
契約終了	6 件	7 件	1 件減

②成年後見制度の推進

法人後見受任事業

適切な後見人がいない方等に対し、本会が法人として、後見人等を受ける事業です。

＜受任者数＞R 4 年度末

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計
	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	
後見等	7	0	1	0	4	0	1	0	13
後見監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0
任意後見契約									1
									14

成年後見制度推進事業

認知症や障害などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度を円滑に利用できる支援を行い、擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることを目的とします。

＜成年後見制度の利用に関する相談＞

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
問合せ	1 1 9 件	8 0 件	3 9 件増
申立相談支援	7 2 件	3 6 件	3 5 件増
利用中の支援	4 件	4 件	増減なし

＜成年後見制度の利用に関する手続き支援＞

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
申立支援実人数	7 件	1 0 件	3 件減

＜市民後見人の選任＞

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
人数	1 人	0 人	1 名増

＜市民後見人の育成に関すること＞

【市民後見人養成講座修了者情報交換会】

開催日 令和4年12月2日(金)

場 所 古河福祉の森会館
ボランティアセンター

参加者 16名

内 容 ・成年後見サポートセンターこが実績報告
・中核機関の役割について
・グループワーク



＜中核機関に関すること＞

【成年後見中核機関福祉関係者向け研修会】

開催日 令和5年2月22日(水)

場 所 古河福祉の森会館
2階 視聴覚室

参加者 35名

(居宅介護支援事業所ケアマネジャー、
相談支援事業所相談員、在宅介護支援センター相談員、
高齢介護課、障がい福祉課)

内 容 ・成年後見サポートセンター業務について
・日常生活自立支援事業について
・成年後見制度について



(3) 相談体制の充実

①相談支援体制の充実（地域包括支援センター事業の一部）

総合相談支援業務、権利擁護業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、必要な支援を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。

相談件数	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
古河地区	1, 8 4 9 件	1, 6 4 8 件	2 0 1 件増
三和地区	5 7 0 件	4 9 1 件	7 9 件増

②生活困窮・権利擁護等の支援センターの設置・運営

「古河市生活支援センター」と「成年後見サポートセンターこが」を総和地区の「たんぽぽ館」へ移転しました。（※成年後見サポートセンターこがは令和5年4月1日移転）

上記事業を同事務所にすることで、生活困窮者や権利擁護が必要な方へのワンストップ支援が出来る体制を整備しました。

③心配ごと相談事業

開催日 毎週水曜日 午後1時30分～3時30分
場 所 古河庁舎、三和地域福祉センター
相談件数累計 33件【R3年度22件】
相談内容 ・生活、職業、家族、病気、人権、財産、近所間のトラブル等

④苦情解決体制の充実

苦情解決第三者委員会【R3年度1回開催】
開催日 令和4年10月13日（木）午後2時00分
場 所 三和地域福祉センター
出席者 苦情解決第三者委員2名 事務局3名
報告件数 4件

基本目標4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

（1）適正な法人の運営

①地域福祉活動計画の推進

「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動計画に沿った各事業を行いました。

②事務局体制の充実

理事会・評議員会・監事会・各委員会の開催

1）理事会（全4回）【R3年度7回開催】

【第1回】

開催日 令和4年6月8日（水）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事12名 監事2名
議 事
・令和3年度社会福祉法人書面検査結果報告について
・古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について
・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
・令和3年度古河市社会福祉協議会第4次補正収支予算の専決処分の報告及び承認を求めることについて
・令和3年度古河市社会福祉協議会事業報告について
・令和3年度古河市社会福祉協議会収支決算について
・評議員会の招集事項について

【第2回】

開催日 令和4年9月2日（金）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事14名 監事2名
議 事
・職務執行状況の報告について
・令和4年度第1回共同募金配分委員会の報告について
・令和4年度第1回福祉事業推進委委員会の報告について
・令和4年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について

- ・古河市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・評議員会の招集事項について

【第3回】

開催日 令和4年12月7日（水）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 理事13名 監事2名
 議事

- ・令和4年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について
- ・古河市社会福祉協議会定款の変更について
- ・適格請求書発行事業者の登録について
- ・評議員会の招集事項について
- ・令和4年度第2回共同募金配分委員会の報告について

【第4回】

開催日 令和5年3月2日（木）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 理事11名 監事2名
 議事

- ・職務執行状況の報告について
- ・古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について
- ・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会子業計画について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会収支予算について
- ・評議員の招集事項について
- ・陶芸教室事業の一部支援（陶芸室管理）について

2) 評議員会（全4回）【R3年度4回開催】

【第1回】

開催日 令和4年6月24日（火）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 評議員18名
 議事

- ・令和3年度社会福祉法人書面検査結果報告について
- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和3年度古河市社会福祉協議会第4次補正収支予算の専決処分の報告及び承認を求めることについて
- ・令和3年度古河市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和3年度古河市社会福祉協議会収支決算について

【第2回】

開催日 令和4年9月20日（火）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 視聴覚室
 出席者 評議員20名
 議事

- ・令和4年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について

【第3回】

開催日 令和4年12月21日（水）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 評議員17名
 議事

- ・令和4年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について
- ・古河市社会福祉協議会定款の一部改正について

【第4回】

開催日 令和5年3月16日（木）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 評議員16名
 議事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会事業計画について

- ・令和5年度古河市社会福祉協議会収支予算について
- ・陶芸教室事業の一部支援（陶芸室管理）について

3) 監事会（全1回）【R3年度1回開催】

開催日 令和4年5月12日（木）午前10時
 会 場 社会福祉協議会 相談室
 出席者 監事2名
 内 容 ・令和3年度の監査について

4) 評議員選任・解任委員会（全2回）【R3年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和4年6月8日（水）午後3時30分
 会 場 古河福祉の森会館 創作室1
 出席者 評議員選任・解任委員5名
 議 事 ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

【第2回】

開催日 令和5年3月2日（木）午後3時30分
 会 場 古河福祉の森会館 創作室1
 出席者 評議員選任・解任委員5名
 議 事 ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

5) 共同募金配分委員会（全3回）【R3年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和4年8月18日（木）午前10時
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員6名
 議 事 ・令和4年度歳末たすけあい事業配分について
 ・『地域食堂』を」設置・運営する団体への助成について

【第2回】

開催日 令和4年11月14日（月）午前10時
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員6名
 議 事 ・令和4年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分対象者及び歳末地域たすけあい事業配分対象団体の決定について
 ・令和4年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額及び歳末地域たすけあい事業配分金額の決定について

6) 福祉事業推進委員会（全1回）【R3年度1回開催】

【第1回】

開催日 令和4年8月18日（木）午後2時
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員4名
 議 事 ・副委員長選任について
 ・令和5年度新規事業について
 ・その他

7) 役員（理事・監事）研修（全1回）【R3年度1回開催】

【第1回】

開催日 令和5年2月4日（土）午前10時
 場 所 ユーセンターKI 防水
 出席者 役員13名
 内 容 災害ボランティアセンターにおける地域リーダーとしての役割

8) 法人後見運営委員会（全2回）【R3年度4回開催】

原則2ヶ月に1回（偶数月の第4木曜日）開催。案件等がない場合は中止

	実施年月日	協議内容
第1回	令和4年 4月28日（木）	前年度実績報告等
第2回	令和4年 6月23日（木）	法人後見受任審査等

9) 衛生委員会（全12回）【R3年度12回開催】

	実施年月日	協議内容
第1回	令和4年 4月27日（水）	今年度の取組について等
第2回	令和4年 5月25日（水）	今年度のテーマについて等
第3回	令和4年 6月22日（水）	職場巡視（古河事務所・古河包括）等
第4回	令和4年 7月27日（水）	熱中症対策について等
第5回	令和4年 8月24日（水）	ストレスチェック、集団分析報告等
第6回	令和4年 9月30日（金）	セルフケアについて等
第7回	令和4年10月26日（水）	セルフケア職員周知について
第8回	令和4年11月24日（水）	巡視チェックリストの見直しについて等
第9回	令和4年12月13日（火）	正しいスキンケアについて等
第10回	令和5年 1月24日（火）	健康寿命の延伸に向けて等
第11回	令和5年 2月22日（水）	労働災害について等
第12回	令和5年 3月22日（水）	次年度の内容について等

10) 感染症対策委員会（全1回）【R3年度0回開催】

	実施年月日	協議内容
第1回	令和4年 9月30日（金）	感染症マニュアルについて等

③職員研修の実施（全2回）

ハラスメント研修

開催日 第1回：令和4年6月14日（火）14時
 第2回：令和4年6月16日（木）14時
 場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 51名
 内 容 ・職場のパワーハラスメントを考える等

経理研修

開催日 第1回：令和4年11月11日（金）14時
 場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 15名
 内 容 ・会計基礎について



(2) 広報・啓発活動

①社協だよりの発行

年間4回（6月1日、10月1日、12月1日、3月1日）
 ・作成数 47,000部
 ・配布先 古河市内全戸、関係機関等

②ホームページの公開

社協ホームページの中に「ももちゃんブログ」を開設し、
社協活動の画像を公開することでPRをしております。

ホームページアドレス URL <http://www.koga-syakyo.com/>

	R 4 年度	R 3 年度	前年度比
総閲覧者数	1 0 0, 8 1 4 件	9 0, 5 2 5 件	1 0, 2 8 9 件増

(H23.6 開設)

③ふくしまつり・イベントの開催（共催）

第1回新ふくしまつりの開催

古河、総和、三和各地区で行っていた「ふくし祭り」を一つに統合し、
映画の上映を中心とした新たな福祉のお祭りとして開催いたしました。

開催日 令和4年11月23日（水）

会 場 三和健康ふれあいスポーツセンター

参加団体 25団体 ※雨天のため1団体のみ参加

第1回新ふくしまつり～映画上映～

鑑賞者 350名

来場者 350名

内 容 映画上映とチャリティバザー等

Koga インクルーシブフェスティバルの開催

開催日 令和4年12月3日（土）

場 所 健康の駅

内 容 講演会・表彰・作品展示

第72回 茨城県社会福祉大会

開催日 令和4年10月19日（水）

場 所 ザ・ヒロサワ・シティー会館

顕彰者 75名



（3）財源の確保

①社会福祉協議会会費

社協財源の基盤となる会費を各世帯や企業等に協力していただきました。

特別(大口)会費については、事務局長以下係長までの職員が再度各企業に訪問して
協力依頼を実施しました。

(単位：円)

	令和4年度	令和3年度	前年度比
一般会費	9,974,955	10,156,350	181,395 減
特別会費	560,000	576,000	16,000 減
特別大口会費	3,265,000	3,300,000	35,000 減
合 計	13,799,955	14,032,350	232,395 減

②共同募金（赤い羽根、歳末たすけあい）事業の支援

茨城県共同募金会古河市共同募金委員会として、共同募金運動（赤い羽根募金、歳末たすけあい募金）、災害たすけあい義援金の募金活動を実施しました。

《実績額》赤い羽根募金 20,372,541円【R3年度 20,932,076円】

歳末たすけあい募金 8,487,611円【R3年度 8,516,467円】

災害たすけあい義援金 65,270円【R3年度 125,108円】

（内訳）令和4年台風15号災害静岡県義援金 47,270円

令和4年8月3日から的大雨災害義援金 18,000円

歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律 11,000 円を配分しました。

(R3 年度配分金 対象世帯あたり一律 11,000 円)

※協力いただいた金額と申請件数によって金額は変動いたします。

	配分対象別	配分金額(円)	合計(件)
1	満 70 歳以上のひとり暮らし高齢者	6,039,000	549
2	満 70 歳以上の高齢者のみ世帯	1,122,000	102
3	満 70 歳以上の高齢者が中学 3 年生以下の子どもを養育している世帯	0	0
4	要介護 3 以上の認定を受けている方のいる世帯	55,000	5
5	準要保護世帯の認定を受けている世帯	44,000	4
6	中学 3 年生以下の子どもを養育しているひとり親世帯であり、児童扶養手当を受給している世帯	220,000	20
7	障害者のいる世帯（身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳Ⅱまたは A、精神障害者保健福祉手帳 1・2 級、障害者年金 1 級・2 級）	627,000	57
	合 計	8,107,000	737

【R3 年度 7,744,000 円・704 件】

③その他の財源の拡充

1) 不要入れ歯回収事業（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり①ボランティア活動への参加促進

2) 寄附金の受け入れ（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり②企業の社会貢献活動等の促進

3) ファンドレイジングの実施

・地域支えあい講演会等にて募金箱及び振込用紙を配付しました。